

# 3M ジャパングループの 環境保全活動とステーションナリー

[https://www.3Mcompany.jp/3M/ja\\_JP/sustainability-jp/](https://www.3Mcompany.jp/3M/ja_JP/sustainability-jp/)

人類社会の“持続可能な発展”に貢献するため、3Mでは、独自の「3M LCM」(ライフ・サイクル・マネジメント)をはじめ、多くの施策を導入。それに基づき、ステーションナリーの分野でも、再生紙を使ったポスト・イット® ノート／ふせん、エーワン™ ラベル、再生プラスチックを使ったポスト・イット® フィルム見出し／インデックス、森林認証紙を使用したエーワン™ ラベル・カード、生産工程における環境負荷の発生を削減した粘着テープなど、資源の節約や環境保全に関する表彰や評価を受けた製品を続々と送り出しています。

## 3M 独自の環境に配慮したものづくり

### LCMにより製品の環境負荷を厳しく評価

3Mでは、“持続可能な発展”のために「環境」、「社会」、「経済」の調和を目指し、独自の3M LCM (ライフ・サイクル・マネジメント)を導入。製品の構想から製造、販売、使用、廃棄にいたるまで、ライフサイクル全般にわたるリスクを事前に予測、評価し、環境への負荷を配慮する製品開発を進めています。このLCMを通じ、持続可能な社会実現に貢献するものを「環境ソリューション製品」として世の中に送り出しています。

## 3Mの環境保全・社会貢献活動と実績

### 環境保全・社会貢献活動

#### ネーミングライツ取得を通じた地域貢献

3M ジャパングループは、東北の主要営業拠点として仙台支店を構えているほか、製品の輸出入で仙台港にお世話になるなど、宮城県と深い関係にあります。そこで、宮城県における震災復興に貢献するために、2013年6月、仙台市科学館および仙台塩釜港仙台港区内の公園、緑地のネーミングライツ(命名権)を取得しました。

#### 子ども科学実験館(ウィザード(魔法使い)プログラム)

小学校の夏休みを利用して子どもたちの探求心や想像力を応援します。若い技術者たちが中心となり、6つの事業所で開催しています。

#### ひがしね さくらんぼマラソン大会

スリーエム ジャパン プロダクツ株式会社 山形事業所では、市主催のマラソン大会のメインスポンサーとして同大会を支援。沿道整理などのボランティア活動も行っています。

#### 救済物資の無償提供による地域貢献

3M ジャパングループは、2016年に発生した熊本地震では、被災された皆さまの救援ならびに被災地の復旧にお役に立てるために、支援物資として、予防歯科用製品の歯みがきペーストとデンタルフロス、災害の復旧作業時に呼吸器を保護するマスクをお届けしました。

※このほか各地でさまざまな活動を展開しています。詳細はホームページをご覧ください。

### 温室効果ガスの削減実績

人類共通の課題である地球温暖化の防止を目指して、各国政府や産業界では、温室効果ガスを削減するためのさまざまな活動が進められています。3M ジャパングループも3Mの方針にのっとり、対象となる温室効果ガスの排出削減に自主的かつ積極的に取り組んでいます。2019年度の3M ジャパングループの温室効果ガス総排出量は、CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)と、製造プロセスから排出されるその他の温室効果ガス(CO<sub>2</sub>換算)の合計値で前年比95.1%となり、4.9%削減を実現しました。

### 環境保全に関する表彰／評価

- 平成22年度 カーボン・オフセットモデル事業(環境省)  
内装用途に使用される3M™ ダイノック™ フィルムが環境省の平成22年度カーボン・オフセットモデル事業に採択されました。
- 平成23年度 カーボン・オフセット大賞奨励賞  
自社製品7種類のライフサイクルにおけるCO<sub>2</sub>排出量をカーボン・オフセットする取り組みで、同賞を受賞しました。
- 平成27年度 省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」  
3社共同による「自然採光システムによる省エネ照明と快適性向上」に対する取り組みで、同賞を受賞しました。



### ISO14001 グループ認証取得

3M ジャパングループでは、ビジネスプロセス全般にわたる環境影響に配慮し、拠点ごとに取得していたISO14001の認証を2005年に統合化し、全ての事業活動拠点で更なる環境保全への取り組みや環境負荷を低減した製品の開発・販売を推進しています。



EMS 673152 / ISO 14001



3M ジャパングループの温室効果ガス排出量

